

校章案のデザイン制作について

資料4

制作方法	制作者	メリット	デメリット
① 応募されたデザインから委員会で数点に絞り込んだものに微細な補正のみ	応募者	<ul style="list-style-type: none"> ・微細な補正のみのため、完成に要する時間は比較的短くなると考えられ、校章案アンケート開始までの時間を短縮できる。 ・デザインがほぼ反映されるため、応募者自身が選定されたことを認識できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校名案アンケートと同時に校章のデザイン募集を行い、選択した校名案に対するデザインを描くため、選択した校名案が選ばれなかった場合、そのデザインは除外される。そのため、最終選定の校名案に対するデザインが少なくなる可能性がある。 ・応募作品の補正、修正等について、デザイナー等の理解を得にくい。
	デザイナー等		
② 応募されたデザインから適宜パーツを切り取って組み合わせて作成	デザイナー	<ul style="list-style-type: none"> ・応募した多くの人のデザイン(想いや意図)が部分的ではあるが反映される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・応募された全てのデザインから、使用するパーツを検討するため完成までに時間を要する。
③ ①と②両方作成	応募者	<ul style="list-style-type: none"> ・校章案としてあがってくる数が増える。 ・①、②のメリット 	①、②のデメリット
	デザイナー等		